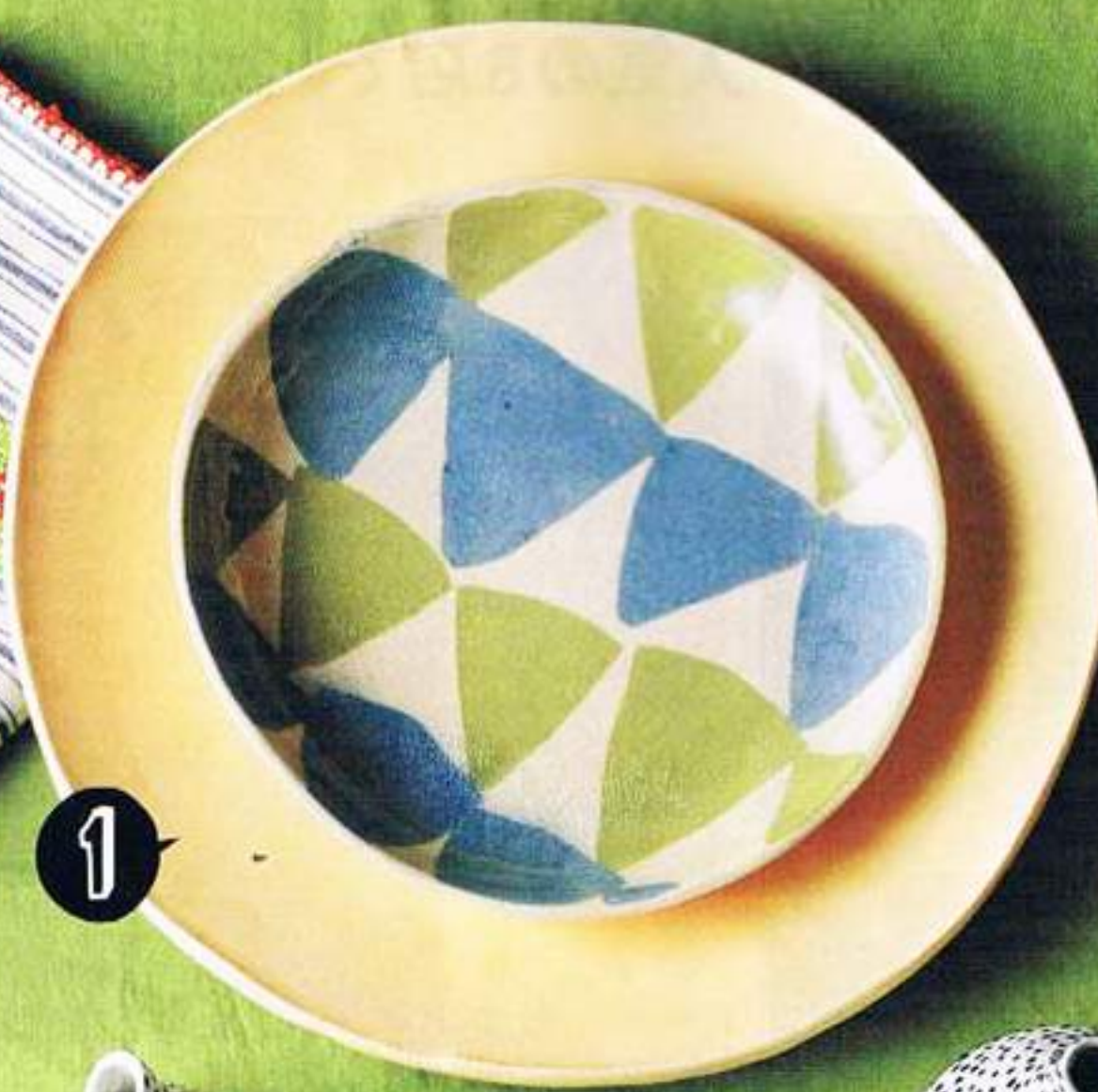


ベルトのイラストが入った黄色い皿 (φ27cm) 3,400円  
 トが入った皿 (φ18.5cm) 10,000円 淡い黄色の  
 円 グリーンとブルーの柄入り皿 (φ18.5cm) 13,000円  
 チが入ったナプキン (W38×L54cm) 5,500円  
 フォーク各2,200円 かご (約φ12×H14cm) 7,000円  
 ス 右 (約φ5.3×H8cm) 6,500円 中・左  
 7,000円 カトラリーを入れた布製ケース4,800円



1

自然素材のかごは  
 くたっとした  
 愛嬌のあるモノを



4

3

カトラリーも  
 ショッキングピンクで  
 アクセサリー感覚



2



## アートみたいなテーブルウェアで、不思議の国のパーティ

KEY ITEM  
1

### 機能性に優れた きれいな色の器

基本となる器は、きれいな色とともに機能性も重視。オリジナルアイテムの「ボナベティコレクション クロマティック大皿」は、水彩画のような色合いが美しく、また電子レンジやオーブンにも対応と、使い勝手もいい。(φ27cm) 各3,400円

こんなアイテムも!

「ワーミングホーム シチューボウル」は、鮮やかなグリーンに、白で描かれた家のイラストがキュート。直火可なので、キッチンからそのまま食卓へ。(φ19×H7.5cm) 3,800円



### 作家モノの 遊び心あるプレート

KEY ITEM  
2

「バザー・エ・ガルド・モンジェ」らしいスタイルの要となるのが、作り手の個性あふれる手書きのプレート。料理を盛っていないときはデコレーションにもなる、マルトがお気に入りの作家ローラン・デュフルによるプレート上(φ18.5cm) 各10,000円

こんなアイテムも!

フランスの作家、ヴィンセント・ヴェルデのプレートは、マルトがアトリエを訪ねて買い付ける。実験を好むヴィンセントの器は一点モノが多い。右(φ18.5cm) 14,000円 下(φ16cm) 11,000円



KEY ITEM  
3

### カラフルな色があふれる プリントのテーブルクロス

テーブルクロスにも思い切った柄を使うのが「バザー・エ・ガルド・モンジェ」流。柄の色をひろって器の色を選ぶと、派手だけれどなじみのよいコーディネートになる。モロッコに住むフランス人男性マヌーとクリストフによる「レオ・アトランテ」のマルトクロスは、モロッコの手刺繍がアクセント。(140×140cm) 27,000円

こんなアイテムも!

世界を旅する「レ・トゥーリスト」のファブリックは、アジアとヨーロッパのエッセンスが上手に調和。鮮やかな柄の組み合わせもシックなマルトクロス(170×250cm) 12,000円



### 個性あるフォルムが目を引き アートのようなオブジェ

KEY ITEM  
4

オブジェを器と一緒に並べて、テーブルに個性とサプライズを添えよう。ぽってりとしたフォルムと立体感のあるドット模様が愛嬌のある一輪挿しは、フランスの男性作家ジーン・マークによるもの。手前(約φ5.3×H8cm) 6,500円 奥(約W6.5×H7.3cm) 7,000円

こんなアイテムも!

日常にあふれるものをモチーフにしたアートベースは、味のある手書きのドローイングが印象的。(約W10×D6.5×H16cm) 24,000円



## 色とパターンが躍る、アートなテーブル

# Bazar et Garde-Manger

バザー・エ・ガルド・モンジェ



フランスを中心にヨーロッパから集めたテーブルウェアや雑貨、不思議なおブジェなどが所狭しと並ぶ店内。テーブルに個性を添える、とっておきの一点を見つけよう。

●東京都港区北青山3-7-6

☎03-5774-5426 営業11時～19時半 不定休

http://www.bazar-et-gm.com/

大ぶりの植物とヴィンテージ家具で飾られた小さな庭を抜けて店内に入ると、そこは、さまざまな色とパターンに彩られた不思議の国! 東京・表参道の「バザー・エ・ガルド・モンジェ」は、「好奇心の戸棚」と「不思議の庭」という一風変わったコンセプトをテーマに、ディレクターのマルト・テムランが選んだ個性あるアイテムが集まる。

**テーブルが楽しくなる  
鮮やかな色や柄を重ねて**

その独特の世界観は、テーブルウェアのラインナップにも貫かれている。フランスの作家が手がけるユニークな絵皿や、色鮮やかな柄のテーブルクロス

ス、ほかの店ではお目にかからないオブジェ……。コーディネートのために引き算するというよりは、自分の「好き」な感覚を大切に、一生とっておきとなるモノ、楽しく暮らすために必要なモノを見出す喜びをテーブル上に表現する。そんな、それぞれの感性を大切にしたいテーブルを提案している。

今回のコーディネートも、ローラン・デュフェールといった、マルトがお気に入りの作家による絵皿が主役。色みを青、緑、黄色で揃えているのが、にぎやかながら、どこかまとまりのある印象となる秘訣だ。実用とアートを区別せず、心の満たされるモノで飾るテーブルのお手本がここにある。